

全体の事業計画進捗状況

令和元年9月～12月

小牧市障がい者計画	目的・ねらい	事業内容	実績、参加人数	参考:第3次障がい者計画	参考:第5期障がい福祉計画、第1期障がい児計画
相談先の周知	広く市民に障害福祉サービス事業所を周知する	(12/20) ①障がい福祉サービス事業所一覧完成(9/10) ②出前講座 東新町サロン	①2,000部発行。市役所と社協ホームページにアップ ②参加者:10名 【講義内容】 ・障がいの理解 ・障害福祉サービスについて	P53(3)	P39(1) ②、P55(1)、P67・3
福祉人材の確保	①福祉人材不足解消 ②障がい等福祉の魅力PR	(12/7) 小牧福祉就職フェアの開催  こころのサポートボランティア養成講座への協力	来場者:95名 ・参加法人(事業所):28法人 ・事業所ごとにブースを設置し、説明を行う ・就労継続支援事業所による物品販売  参加者:8名 令和2年1月29日より4回講座で開講	P35(5)	P39、P40(1) ②、③(2)①～③
障がいに関する理解の促進	地域住民の障がいに関する理解促進	(8/11) 市民を対象とした ①映画鑑賞会の実施 映画:「ぼくはうみがみたくなりました」 ②感想文コンテスト	①参加者69名(内:小、中学生9名) ・市内小中学校にチラシを配布。 ②応募者1名:(優秀賞)優秀賞 ・福祉展(10/19.20)ここぱりコーナーで紹介 ・小牧福祉就職フェア(12/7)で紹介 ・社協だより12月号で紹介	P32(2)	P55(1)
相談支援体制の充実	①65歳になった障がい者についての相互連携 ②8050や7040世帯への相互連携	(6/2) 小牧市身体障害者福祉協会で出前講座に参加	参加者:8名 ①障がい者福祉について ②65歳になった実際の事例を通して考える	P30	P67-4
学校との連携	①市内の卒業生の進路確保、事業所と受け入れができるか検討する機会をつくる ②進路指導担当と情報共有、事業所のPR	特別支援学校へ出前講座 ①(7/25) 春日台特別支援学校 ②(8/28) 小牧特別支援学校	特別支援学校へ出前講座 ①春日台特別支援学校・参加教員:約100名 ②小牧特別支援学校・参加教員:約100名 ・特別支援学校教員向けに小牧市の相談支援事業所の仕組みについて講義	P42	P40(1) ⑤、 P41(4)
障害福祉サービス(訪問・日中活動系)等の充実	地域での自立した暮らしを支える居宅介護、重度訪問介護、訪問看護、訪問リハビリなどの訪問系サービスと情報共有、情報交換、課題の共有	居宅介護サービス事業所と相談支援専門員との意見交換会	令和2年3月実施予定	P35(2)	P40(2) ①、P48(1)

☆全体事業の課題点

①障害相談支援事業所があることを十分市民に周知されていない。 ②市民に対して、障がいの理解をしてもらう機会が少ない。	} ⇒ 市民向け企画の検討
③障がい福祉分野で働く人材が不足している。特にヘルパーの人材不足、高齢化。 ④障がい福祉分野で働く魅力を伝える機会が少ない。	} ⇒ 就職フェアの継続実施